

こんにちは!

村立東海病院



意外と知らない? 採血のお話

血液検査で分かること



血液は体内に広く分布し、体の隅々まで循環して、物質の運搬や生体防御、体温調節などの大切な役割を果たしています。

人の血液量は、体重の約13分の1とされています。つまり体重70キログラムの場合、おおよそ5リットルの血液が体内を流れていることになります。血液は、いろいろな成分で構成されていて、体の状態を表す情報源です。体調や健康のバランスが崩れていないか、生活習慣病にかかっていないか、炎症反応や貧血が起きていないかなど、たくさんの情報を知らせてくれます。

採血管の秘密

採血管が何本も分かれているのは、検査の項目によって採血管が異なり、血液の必要量が違うからです。また、採血管の中には白い粉や透明の液体など、目的によって異なった薬剤が入っています。採血中によく見ていると、何もしないのに血液が採血管の中に入っていきます。これは、採血管の中の圧力が外部より低くなっているためで、血液が必要量まで入ると自然に止まるようになっています。



採血の素朴な疑問にお答えします!

Q1 今日は何本採るの?そんなに採ったら血がなくなっちゃうよ!

A1 採血管の本数や採血量は患者さんによって異なりますが、多くの場合、採血量は料理に使う大さじ1杯分(15ミリリットル)くらいです。採血管の本数に比べて意外に少ないのは、採血管1本に入る量が少量だからです。

Q2 食事してきちゃったけど大丈夫?

A2 食事により、影響を受ける項目と受けない項目があります。診察の時に食事をしてきたこととお話していただければ、医師は検査値への影響を知ることができます。

Q3 血管が見える人と見えない人がいるのはどうして?

A3 人は、それぞれ血管の走行が違う上、血管の太さや深さ、硬さも違うためです。

Q4 私の血液の色、黒くないですか?

A4 普段採血する血液は静脈血で、これは体内の各臓器や細胞に酸素を届けた後の血液です。そのため黒っぽく見えるのです。

Q5 私の血ってドロドロしている?

A5 マスコミなどで取り上げられ、話題になっているので気になる方も多いようです。「ドロドロ血液」とは言っても、実際に血管の中をドロドロとした血液が流れているという訳ではなく、残念ながら採血をただけでは分かりません。

Q6 採血後、どうして押さえなくちゃダメなの?

A6 採血後、血液はすぐには止まりません。血液が止まらないまま重いものを持ったり、押さえなかったりすると、血液が漏れて服を汚したり、内出血をおこして腕が青くなったりします。採血が終了してから、5分くらいは圧迫してしっかり血液を止めましょう。この時、決してままないようにしてください。

Q7 今日、お風呂に入ってもいいですか?

A7 採血をしても、血液がしっかり止まっていれば、入浴は差し支えありません。



臨床検査室 安孫子 智子

【問い合わせ】村立東海病院(☎282-2188)、福祉総務課地域医療担当(☎287-0848)